

銀漢亭日録



伊藤伊那男

2月11日(水)▼十一時、如水会館にて「かびれ」千号祝賀会。かびれは盤水先生が若き日に学んだ結社。二次会も声を掛けて下さり、スピーチ。駒ヶ根市の会員九人が参加していて、一人は私と同じ町内の雑貨店、桜屋のおばちゃん(竹入さん)。あと渋谷に出てまたふらふら、ああ……。

12日(木)▼池田のりをさん「銀化」「慶大俳句丘の会」の魁矢まりえさんと。山崎祐子さん、画家の宮瞳子さんと。オリックス時代の中野さん、井月本のサインを、と来店。有り難し。

13日(金)▼店、「大倉句会」十四人。石寒太氏より電話。七月の隠岐島の俳句大会の選者でと依頼。嬉しいが、店を休むかどうか……。

14日(土)▼十時発行所にて銀漢運営委員会。来年の五周年新年会のことなど。昼「いもや」の海老天。「銀漢本部句会」は麹町区民会館の和室。五十四人でギョウギユウ詰め。あと「はなの舞」にて親睦会。帰路の電車にて「秋麗」主宰・藤田直子さんとばったり会う。家族は早朝から苗場へスキー。

15日(日)▼隠岐島行き決定し、寒太氏に連絡。十四時、丸の内「KITTE」6階「十六夜句会」の東京駅吟行に誘われる。十四人。新装ドーム、五・六番線ホームに残る開業当時から鉄柱の飾り、首相遭難碑、北町奉行所跡の碑など。ギャラリーも見応えあり。あと八重洲の料理店「初藤」にて句会と酒盛り。

16日(月)▼阪西敦子さん誕生日の集い。今井聖、望月周、日下野由季、

村上頼彦さんなど来て二十人程で祝う。発行所「演劇人句会」八人程。国会議員のT先生、井月本読んだ！と。皆川文弘さん「ビッグコミックオリジナル」に俳句の漫画あると。

17日(火)▼雪。発行所、鳥居真里子さんの超結社句会「駿の会」。あと店へ六人。店、「俳句」三月号用「俳句で夜遊び、はじめました」で超結社「火の会」の取材で岸本葉子さんと角川のスタッフ。卓田謙一、佐怒賀直美、広渡敬雄、齋藤朝比古、峯尾文世、太田うさぎ、天野小石、阪西敦子さんの面々。

18日(水)▼高校同期「三水会」七人。毎月集まっているが、話は尽きない。水内慶太氏より庄内の寒風干しの鯉一本到来。御本人も見える。スライスして皆でいただく。大野田さんと事業部、「井月忌の集い」の打合せ。こしだまはさんの手配で読売新聞三月三日の夕刊にもイベント案内に載ると。「俳壇」三月号の俳壇時評に「秋」主宰・佐怒賀正美さんが二頁にわたり井月本紹介して下さる。

19日(木)▼「銀漢句会」あと十六人。村上頼彦さんと「俳句界」の山口亜希子、青木美佐子さん。

21日(土)22日(日)▼ヘアメイクの中川さん来宅。カット。四月号の選句。杏、孫、久々来宅。杏、四月出産にて大きなお腹。「白魚火」名誉主宰 仁尾正文氏逝去の報。昨年七百号祝賀会にお招き戴いた。

23日(月)▼金井さんの台湾旅行の土産からすみ。先週は眞理子さんも台湾旅行でからすみの土産。各々特上品！からすみ長者である。「炎環」主宰 石寒太、三輪初子さんなど「毎日俳句大賞受賞式」の帰路寄って下さる。

25日(水)▼朝から原稿書き。雑務。店「雛句会」十二人。活気あり。

今日、「銀漢」へ二名入会。「月の匣」水内慶太、水香さん。五周年記念あと「銀漢亭」で二次会の予約いただく。二十二時、閉めてまた「ふくの鳥」。

28日(土)▼「纏句会」つくづく、日本橋界隈の変貌に驚嘆。「与志喜」のビルだけが再開発に入らないと。烏賊のぬた、かますの酒盗焼。鯛の葉桜巻と若筍とあんかけ(桜鯛の題にちなむ)、握り。昔、勤めた会社周辺を歩いてみる。帰宅すると孫の学校仲間の親四家族が来て酒盛りの最中。参加して二十二時過ぎまで。……ああ、また……。

3月1日(日)▼四月号の執筆完了！午後、「春耕同人句会」で中野。あと「炙谷」にて親睦会。あと、池内、袖口氏らと「赤ひょうたん」を覗き、「未来図」の守屋、新海、石地、冬馬、央子さんらと合流。

2日(月)▼郷里の従兄弟、四月の駒ヶ根市議会議員選挙に立候補すると。店、「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十人。望月周夫妻。「俳句四季」五月号「一枚の絵」のエッセイ送る。

3日(火)▼俳人協会賞授賞式あと、受賞者の若井新一、青木亮人さんを朝妻力さんが店へ案内。山田真砂年、佐怒賀直美、しなだしん、權未知子、阪西敦子、橋本直、亀割潔、広渡敬雄、池内けい吾、袖口満、松川洋酔さんなど……。帰路、成城駅下車時、足がつる。

4日(水)▼北村監督、平澤、大野田さん「井月忌の集い」の打ち合わせ。毎日新聞の鈴木琢磨さん久々。「きさらぎ句会」あと八人。「宙句会」あと七人。終って、大野田、一斗、礼奈と一軒。

7日(土)▼鳥谷高水句集のチェック。十八時過ぎ、谷岡さんと下北沢に待ち合わせ。同人・大山かげもとさんの茶苑訪問。お元気！茶師十段の御子息とも。茶の話などお聞きする。近くの甥の宝飾店も覗き挨拶。十九時、ザ・スズナリにて会員・田岡美也子さんの出演する劇「バリカンとダイヤ」を観る。あと、洋酔さん他、銀漢メンバーで田岡さん囲み親睦会。二十三時くらいまで。

8日(日)▼スクワール麹町にて「井月忌の集い」。二百名ほど。あと、近くの居酒屋。あともう一軒。ああ、また……。

9日(月)▼望月周さんの俳人協会新人賞受賞を祝う会。高木加津子、阪西敦子さん幹事で十四人。

10日(火)▼鳥谷高水句集の選句、序文送る。店「火の会」八人。新潟日報の大日方氏、宮通信社長、本井英、土肥あき子さん。

11日(水)▼発行所、「梶の葉句会」あと、編集部、校正作業。

12日(木)▼十六時過ぎ、暮目さんより電話あり、朝妻力さんの奥様逝去。何と！先日届いた「雲の峰」日録で厳しい状況を知っていたが……。店、毎日新聞の鈴木琢磨氏。「天為俳句会」対馬さん他。新海めぐりさん。……閑散。

14日(土)▼十時、運営委員会。昼、「いもや」の海老天。この頃、胸焼けなし。「銀漢本部句会」五十二人。あと、「随一望」にて親睦会。

15日(日)▼終日家。エッセイ二本書く。久々、家族と夕食。春野菜を食べる会とする。独活のキンピラ、山葵の花のおしとし、菜の花のおしとし。うるい、鳥らつきよ。桜海老、春野菜の天ぶら、鯨のステーキなどなど。